



「経験を積み重ねることで」

校長 曾我 泉

5月にオンライン授業を行いました。参加率がとてもよかったです。ご協力ありがとうございました。

昨年度の休校中や夏休み後半に行ったオンライン学級活動は、前のタブレット端末を使ったものでした。新しい Teams のシステムになり、新しいクラスになってからは、初めての家庭と学校をつなぐ、オンライン授業となりました。オンライン授業を行う前に、各教室で使い方の確認をしました。そのおかげか、ほとんどがつながるところまではスムーズにできました。

ところが、実際に始まってみたら、音が聞こえない様子が各学級で見られました。教室の中での練習では、先生の声が聞こえていたので、聞こえていないことに気が付かなかったのです。実際に家庭とつないでみたから分かったことでした。うまくいかなかったことは、さっそく、月曜日に確認が行われたようです。新しいことにチャレンジしたことで、できることが増えました。新しいことは、うまくいくとは限りません。でも、一歩を進めてみないと、次への一歩にはつながりません。

できないこと、うまくいかないことがあるときに、「どうしたらできそうかな」と考えることで、できることにつながっていきます。

授業の中では、その時々に合わせて、ちょっとした「できないこと」を設定し、「どうしたらできそうかな」を考えることで、できることの経験を増やしています。それぞれ個人で考えたことをグループや学級全体でつなぎ合わせて、より確かな考えにしていく経験もします。学習したことが知識となり、次に考える基となっていきます。

授業以外でも、学校生活の中で子供たちができるようになっていくことは様々あります。さまざまな経験を積み重ねながら、子供たちに力を付けていきたいものです。

6月はふれあい月間

東京都教育委員会では、6月を「ふれあい月間」とし、子供たちの健やかな生活を支える取組について見直すきっかけとしています。

子供たち自身が、困っていることを「困っている」と言えることも必要です。さまざまな形で、子供たちの様子を見ていきます。アンケートのほかにも児童個人面談や5年生対象のスクールカウンセラーによる全員面接などを行います。



6月の生活目標

「ふれあい月間」

みんなのためによいことをしよう

保健目標

歯を大切にしよう

梅雨時の衛生に気を付けよう

給食目標

清潔に気を付けて食事をしよう

よくかんで食べよう

《コミュニティ・スクールの活動》

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。運営委員のみなさんと相談しながら学校運営を行っていきます。

まずは、6年生が行う鼓笛の活動を支援していただいています。限られた練習時間となること、分散して練習する必要があることからです。

6月は、地域の方に、体カテストのお手伝いにご協力いただく予定でもあります。